

特定非営利活動法人日本文化体験交流塾 第12回通常総会 実績報告書
第12期（2018年10月1日～2019年9月30日）

第1 事業実施の方針

全国通訳案内士等の研修事業、江戸以来の伝統的な生活の知恵・生活思想の研修事業を行うとともに、出版物の発行及び電子媒体による情報発信事業を行う。

第2 財産及び収支の状況

1 2019年9月30日現在、資産合計は前年度より4,703,586円減少し、18,242,865円となった。

2 収入および支出 単位:円

	第12期	第11期	第10期	第12期の第10期に比較した増減額
	2018年10月～ 2019年9月	2018年1月～ 2018年9月	2017年1月～ 2017年12月	
総収入	49,783,320	57,943,680	76,816,328	△27,033,008
総費用（法人税等除く）	54,366,872	54,774,252	78,151,413	△24,081,626
正味財産増減額	△4,703,586	3,116,919	△1,335,085	

第3 活動実績の概要**1 会員総数**

期数	第12期	第11期	第10期
年	2018年10月～ 2019年9月	2018年(1月～9月)	2017年(1月～12月)
個人会員数	1,702人	1,801人	1,724人
入会金	1,125,000円	1,464,000円	2,486,000円
年会費	13,463,000円	14,722,000円	14,348,000円
入会金・年会費計	14,588,000円	16,186,000円	16,834,000円

2 入会者数と退会者数経緯

	前年度末 会員数	入会者数(A)	退会者数	年末 会員数	退会率	全国通訳案内 士試験合格数 (B)	(A)/(B)
2016年	1,414人	497人	249人	1,662人	17.61%	2,404人	20.70%
2017年	1,662人	315人	253人	1,724人	15.16%	1,549人	20.03%
2018年	1,724人	225人	148人	1,801人	14.68%	1,649人	13.64%
2019年	1,801人	176人	275人	1,702人	15.27%	753人	23.37%

説明

第12期の年会費収入は、第10期と比較して86.6%に減少した。その理由として、全国通訳案内士試験の合格者数の減少に伴い、入会者数が減少していることが考えられる。

- ①ここ数年の退会者数は在籍人員の一定比率(14%~18%)となっている。
- ②ここ数年の入会者数は、通訳案内士試験の合格者の13%~24%となっており、2019年の比率は高い。
- ③以上の結果、2019年度は退会者数が入会者数を上回っており、年会費・会費収入が減少した。

2 会員の研修事業

全体の概要

期	第12期	第11期	第10期
年月	2018年10月～ 2019年9月	2018年1月～ 2018年9月	2017年1月～ 2017年12月
日数	385日	510日	596日
金額	29,818,091円	38,140,030円	53,280,125円

(1) 全国通訳案内士 新人研修

2019年1月から9月まで

講座・研修		日数	実績額(円)
関東A日程	I 講義①②、成田送迎バス、II箱根バス、III都内バス、 IV日光バス、V講義③④、プレゼン演習	5日	9,087,311円 (前年比59.8%)
関東B日程		5日	
関東E日程		5日	
関西C日程	I 講義①②、関空送迎・大阪城、II京都バス①、 III奈良バス、IV京都バス②、V講義③④、プレゼン演習	5日	
関西D日程		5日	
中部日程	I名古屋、高山、II高山、白川郷、III金沢、IV長野	4日	
		29日	

参考 2018年1月から9月まで

講座・研修		日数	実績額(円)
関東A日程	I 講義①②、成田送迎バス、II箱根バス、III都内バス、 IV日光バス、V講義③④、プレゼン演習	5日	15,184,478
関東B日程		5日	
関東E日程		5日	
関東F日程		5日	
関西C日程	I 講義①②、関空送迎・大阪城、II京都バス①、 III奈良バス、IV京都バス②、V講義③④、プレゼン演習	5日	
関西D日程		5日	
中部日程	II名古屋市内①、III名古屋市内②、IV高山・白川郷バス	3日	
		33日	

参考 2017年1月から12月まで

講座・研修		日数	実績額(円)
関東A日程	I 講義①②、成田送迎バス、II箱根バス、III都内バス、 IV日光バス、V講義③④、プレゼン演習	5日	20,592,620
関東B日程		5日	
関東E日程		5日	
関東F日程		5日	
関西C日程	I 講義①②、関空送迎・大阪城、II京都バス①、 III奈良バス、IV京都バス②、V講義③④、プレゼン演習	5日	
関西D日程		5日	
中部日程	II名古屋市①、III名古屋市②、IV高山・白川郷バス	3日	
		33日	

説明

新人研修の受講者数は、全国通訳案内士の合格者数と連動している。全国通訳案内士試験の合格者数は、P1のとおりで、合格者数の減少に伴い新人研修の受講者が減少した。

2016年度の通訳案内士試験の合格者は、全国で2,404人と史上最大であった。その翌年の2017年の新人研修は、20,592,620円の収入があった。これに対し、2019年の通訳案内士試験の合格者は、全国で753人と2016年に比較して、31.3%に縮小した。

その結果、新人研修の売上高は、2017年の20,592,620円に対し、9,087,311円と、44.1%に縮小した。これは、合格者の減少を営業努力で補ったが、まだ、十分にはリカバーできなかった結果である。

参考 通訳案内士合格者・率の推移

西暦	平成	受験者数	2次合格率	合格者数	最終合格率
2000	12	5687		397	7.0%
2001	13	5700		397	7.0%
2002	14	5712		316	5.5%
2003	15	6300		331	5.3%
2004	15	6066		408	6.7%
2005	17	7043	73.8%	789	11.2%
2006	18	8695	70.1%	1,137	13.1%
2007	19	9245	61.9%	1,905	20.6%
2008	20	8972	70.8%	1,559	19.4%
2009	21	8078	72.7%	1,225	15.2%
2010	22	7239	78.5%	932	12.9%
2011	23	5485	85.1%	894	16.3%
2012	24	5000	87.1%	713	14.3%
2013	25	4706	75.8%	1,201	25.5%
2014	26	7290	77.2%	1,658	22.7%

(2) ガイド研修 (関東)

2018年10月から2019年9月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
築地まち歩き／早朝築地	11日	7,654,920
相撲稽古場見学／土俵祭り／奉納相撲／本場所観戦	19日	
座学系の研修 (ジェネラルトピックなど)	37日	
鎌倉、秋葉原、青山、江戸博、谷中等まち歩き	59日	
プレゼン演習	3日	
その他ガイド (和太鼓、東京国立博物館、講演等)	25日	
	154日	

参考 2018年1月から9月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
築地まち歩き／早朝築地	21日	8,157,219
相撲稽古場見学／土俵祭り／奉納相撲／本場所観戦	21日	
忍者・侍ガイド養成	0日	
鎌倉、秋葉原、青山、江戸博、谷中等まち歩き	81日	
プレゼン演習	0日	
その他ガイド (和太鼓、ゼネラルトピック、東京国立博物館、講演等)	23日	
	146日	

参考 2017年1月から12月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
築地まち歩き／早朝築地	65日	18,307,788
相撲稽古場見学／土俵祭り／奉納相撲／本場所観戦	27日	
忍者・侍ガイド養成	18日	
鎌倉、秋葉原、青山、江戸博、谷中等まち歩き	87日	
プレゼン演習	3日	
その他ガイド(和太鼓、ゼネラルトピック、東京国立博物館、講演等)	80日	
	280日	

説明

第 12 期のガイド研修(関東)は、7,654,920 円と、第 10 期の 18,307,788 円と比較して、42.1%と大きく減少した。これは、新人研修の減少幅を上回っている。

① その最大の理由は、築地ガイド研修の減少である。東京都卸売り市場が築地から豊洲に移転するとともに、TJT の築地ツアーが大幅に減少した。これに伴ない築地ガイド研修は、座学・実地ともに減少した。また、忍者・侍研修の減少も大きい。

② 研修全体としての売上は減少したものの、まち歩き研修の満席率が向上している。街歩き研修は、以前から人気の高い研修である。しかし街歩き研修は、講師一人あたりの指導可能人数が座学より少ないことから、少ない人員での効率の良い運営を実現させた。

③ ガイド研修やまち歩き研修の満席が続くなか、日本文化研修やジャパカルなどの座学の集客については不振が続いている。その一因として、昨今のインバウンドの追い風を受け、知識も経験も無い新人ですらガイドとしての就業の機会を得ているという事情があると考えられる。

④ 当交流塾から派遣した大手スルーガイドにおいて、ガイドの質について、低い評価しか得られないガイドも少なくない。今後、当交流塾のガイドの基礎力が低下することは、IJCEE にとっても、TJT にとっても、長期的な不安要因である。

(3) 日本文化研修

2018年10月から2019年9月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
英語による茶道教室	138日	
着物講座(着付け講座、着せ付け講師養成、東京着物の名所ガイド等)	29日	
料理研修(寿司づくり初級・中級・上級、精進料理、和菓子、天ぷら等)	63日	
その他日本文化(和太鼓、茶の湯文化史、江戸・東京講座、ジャパカル等)	18日	
折り紙・風呂敷体験講師養成講座	20日	
	268日	

参考 2018年1月から9月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
英語による茶道教室	83日	
着物講座(着付け講座、着せ付け講師養成、東京着物の名所ガイド等)	35日	
料理研修(寿司づくり初級・中級・上級、精進料理、和菓子、天ぷら等)	33日	
Japanese Culture 講師養成講座 国際比較による日本の研究シリーズ	11日	
折り紙・風呂敷体験講師養成講座	33日	
その他日本文化(和太鼓、茶の湯文化史、江戸・東京講座等)	26日	
	221日	8,509,934

参考 2017年1月から12月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
英語による茶道教室	77日	
着物講座(着付け講座、着せ付け講師養成、東京着物の名所ガイド)	27日	
料理研修(寿司づくり初級・中級/精進料理/和菓子/天ぷら)	39日	
Japanese Culture 講師養成講座 国際比較による日本の研究シリーズ	18日	
折り紙・風呂敷体験講師養成	42日	
その他日本文化(歌舞伎、紙すき、茶の湯文化史、江戸・東京講座等)	18日	
	221日	10,964,290

説明

全研修で最も売り上げを上げているのは日本文化研修である。新人研修の減少を考えると実質2倍程度の伸びともいえる。特に国際茶道は、回数が増加し寄与度が高い。

これはグランTJTの開設に伴い、茶道や料理体験の機会が増加し、講師や助手の機会が増加したことを反映してのものである。

(4) ガイド研修(関西支部)

2018年10月から2019年9月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
まち歩き等(灘酒蔵、祇園、東山、伏見、英語でのガイド研修(京都、大阪、奈良)、ガイドイング・センスを磨く研修(嵯峨野・嵐山)等)	14日	1,876,809
体験講師養成(折り紙講師養成、書道講師養成)	3日	
座学・講演講座(阿部佳氏講演、本阿弥光司氏講演、石井「英語スピーキング力養成特訓講座」等)	18日	
	35日	

2018年1月から9月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
まち歩き等(東山、伏見・酒蔵、嵐山、大阪城、新世界、奈良)	13日	2,266,299
体験講師養成(寿司講師養成、風呂敷講師養成、折り紙講師養成)	6日	
座学・講演講座(ガイド実力養成実践講座、医療通訳講座 Basic等)	31日	
	50日	

参考 2017年1月から12月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
まち歩き等(東山、伏見・酒蔵、嵐山、USJ、奈良)	15日	5,117,320
体験講師養成(折り紙講師養成)	1日	
座学・講演講座(通訳技術、石井隆之「日本の宗教の知識を深める」等)	37日	
地方研修(直島、高野山)	3日	
	56日	

説明

マンパワーが限られたなか、昨年よりも、関西支部における国際観光支援事業のウェイトが増えたため、研修の実施日数は昨年よりも減少した。実施研修自体の集客は良好。

昨年、2期に渡り実施した「ガイド実力養成実践講座」(各期、座学8回、実地2回)が、本年は集客不調の為に中止となったことも座学実施回数に影響している。

ガイドインターンを付けられる機会の少ない関西地方のガイドの為に、英語でのガイド研修を企画。講師が普段のツアーの想定で、英語で受講生を引率するというコンセプトで、計5日を実施。いずれも好評で、コースを変えた第2弾も企画予定。

提携中の外資企業、大阪のインバウンド業者とのタイアップ条件の増強を図り、関連する研修を実施する。

(5) バス研修

2018年10月から2019年9月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
関東バス研修（奥多摩バス研修、富士河口湖）	2日	2,004,838
関西バス研修（山陰、広島）	2日	
	4日	

参考 2018年1月から9月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
関東バス研修（長野、富士河口湖）	2日	2,479,746
関西バス研修（直島、広島、山陰バス）	8日	
	10日	

参考 2017年1月から12月まで

講座・研修	日数	実績額(円)
バス研修（富士山・河口湖バス研修、都内3周バス研修など）	3日	3,573,010
バス研修（姫路・倉敷）	3日	
	6日	

(6) その他の活動

講座・研修	実績額(円)
国際観光支援事業	900,000
ロングツアー研修	746,297
意見交換会	821,642
物販	373,286

3 出版事業

期 数	第 12 期	第 11 期	第 10 期
	2019 年(10 月～9 月)	2018 年(1 月～9 月)	2017 年通年 (参考)
自主出版	1,076,807 円	2,573,020 円	5,021,558 円
著作権収入	781,782 円	722,223 円	
計	1,858,589 円	3,295,243 円	5,021,558 円

説明

第 10 期に 5,021,558 円あった出版事業収入が、第 12 期は、1,858,589 円と、37.0%と減少した。

- ① 全体的な書籍、DVD の売上は減少した。インバウンドの需要が高まる中で、経験や知識の無い新人ガイドに対しても、従来以上に多くの就業の機会が提供されている。このことにより、書籍や教材を購入して知識の蓄積に励む新入会員が少なくなった。
- ② 第 10 期の売り上げの大半をなした受験対策関連書籍の売上が激減した。これは、第 11 期から、三修社において、発行した受験対策本との競合によることが一因である。三修社の出版物は、True Japan School の知名度を上げることで、グループ企業としての効果は高かったが、反面、IJCEE の収益構造においては、マイナス要因となった。

第4 支出について

1 アサイン丸に要した経費は、以下のとおりである。

第12期	第11期	第10期
2018年10月～ 2019年9月	2018年1月～ 2018年9月	2017年1月～ 2017年12月
2,626,340円	2,118,243円	1,414,365円

第10期より、漸次増大し、固定費となっている。

2 職員数（2019年9月末現在）

- ・常勤職員 2名（2018年：3名）
- ・非常勤 3名（2018年：5名）

※2019年9月末現在の常勤職員のうち、1名はTJTからの出向。

また、2019年9月1日付けで、常勤社員1名をIJCEEからTJTに転籍した。

3 業務委託費

機械振興会館の諸施設は、True Japan Tour 株式会社が借り上げている。日本文化体験交流塾は、こうした施設の利用や、IJCEEへの出向社員の経費として、業務委託を実施している。

本業務委託料は、2019年3月より、改訂して月額160万円から、130万円に改定した。

説明

第10期との比較で、総収入が35.2%減少したにも関わらず、総費用の減少が30.8%に止まった。この差4.4%強が赤字の原因である。その要因は、以下の2点である。

- ① 職員数について、第12期の大半が3名体制であり、2名への削減が9月からと遅くなった。
- ② アサイン丸に要した経費が2,626,340円と、10期に比較して倍増している。

(参考) True Japan Tour 株式会社の事業報告について

特定非営利活動法人日本文化体験交流塾が出資する True Japan Tour 株式会社の事業は、以下のとおり報告された。

第1 決算報告書 (抜粋)

貸借対照表

令和01年09月30日 現在

True Japan Tour株式会社

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	142,313,909	【流動負債】	45,719,531
現金及び預金	59,822,084	買掛金	2,272,265
売掛金	62,693,242	短期借入金	20,000,000
商品	580,248	未払金	1,349,316
立替金	307,581	未払費用	5,481,429
未収入金	1,184,300	前受金	4,603,672
仮払金	853,470	預り金	10,430,449
前払費用	6,785,844	未払消費税等	82,200
預け金	10,087,140	未払法人税等	1,500,200
【固定資産】	56,886,738	負債の部合計	45,719,531
有形固定資産	12,861,501	純資産の部	
建物附属設備	8,391,600	科目	金額
工具器具備品	4,469,900	【株主資本】	153,481,116
車両運搬具	1	資本金	150,000,000
無形固定資産	3,955,057	資本剰余金	3,500,000
電話加入権	134,999	資本準備金	3,500,000
ソフトウェア	3,820,058	利益剰余金	△18,884
投資その他の資産	40,070,180	その他利益剰余金	△18,884
長期前払費用	223,180	繰越利益剰余金	△18,884
敷金	28,847,000	(うち当期純損失)	△1,963,432
差入保証金	11,000,000	純資産の部合計	153,481,116
資産の部合計	199,200,647	負債・純資産の部合計	199,200,647

損益計算書

自 平成30年10月01日

至 令和01年09月30日

True Japan Tour株式会社

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
売上高	689,021,420	689,021,420
【売上原価】		
原価(外注費)	277,628,050	
原価(その他)	187,641,469	
合計	465,269,519	
売上総利益		223,751,901
【販売費及び一般管理費】		222,364,333
営業利益		1,387,568
【営業外収益】		
受取利息	687	
雑収入	2,010,622	2,011,309
【営業外費用】		
支払利息	54,123	
雑損失	2,285,286	2,339,409
経常利益		1,059,468
【特別利益】		
【特別損失】		
税引前当期純利益		1,059,468
法人税等		3,022,900
当期純損失		△1,963,432